

事業性定量評価の実践

1名分料金で
2人目無料

～事業投資を分かりやすく！ビジネスプランニングの重要なポイントを伝授！～

- ◆日時:2018年11月19日(月) 10:30～16:30
- ◆会場:江東区文化センター 3F 第1研修室
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき47,250円
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,980円)

※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:インテグラート(株) ビジネスシミュレーション事業部 エグゼクティブコンサルタント 名田 秀彦 氏

■受講対象

新規事業、設備投資、M&A、新製品開発投資などの事業部門からの企画起案者、あるいは事業性評価、リスク評価のに携わっている本社、本部部門の審議担当者・責任者の方新規事業、設備投資、M&A、新製品開発投資などの事業部門からの企画起案者、あるいは事業性評価、リスク評価のに携わっている本社、本部部門の審議担当者・責任者の方

■必要な予備知識

特に予備知識は必要ありません。基礎から解説いたします。
推薦図書:「(新装版)不確実性分析 実践講座: ケースで学ぶ意思決定の手法」福澤 英弘 (著), 小川 康 (著)

■習得できる知識

「事業性を判断する」、「意思決定をする」ための具体的な評価手法を身につけることができます。

【持参物】

本プログラムでは、Excelを使った簡単な演習を行いますので、当日はノートPCをご持参ください。演習用のExcelファイルを事前に送付いたします。

【講座の趣旨】

事業性評価では、NPV等の評価指標の計算を行います。単なる計算をすればよい業務では決してありません。事業性評価は、多くの関係者との密度の高いコミュニケーションに基づく組織的かつ継続的な業務であり、優れた製品・サービスを実現するための企画と評価のキャッチボールのような業務です。
この講習会では、まず、なぜ組織的かつ継続的な取り組みが必要なのかを解説します。そして、事業性評価の考え方、評価指標と各種分析が意味すること、さらに長所短所までを解説し、皆さんと、関係する方々が、それぞれの業務の意味をしっかりと押さえることを目的とします。事業性評価は、新たな製品・サービスの実現に大きな役割を果たす重要な業務です。一つでも多くの優れた製品・サービスを実現するために、この講習会で共に学び・議論しましょう。

【プログラム】

1. 事業性評価は、単なる計算ではなく組織的かつ継続的な業務
 - 1.1 投資額の考え方
 - 1.2 事業性評価業務の変化、各社の取り組みの違い
 - 1.3 数字の遊びを避けるためには
 - 1.4 不確実な事業のリスクマネジメント
2. 評価の基となるビジネスプランの立案: 仮説指向計画法 (Discovery-Driven Planning)
 - 2.1 逆損益計算法
 - 2.2 マイルストーンプランニング
 - 2.3 ステージゲート法との違い
 - 2.4 実務への応用(例:もつと詰めてこい! どう対応するか、等)
 - 2.5 リアルオプション的手法の活用ポイント
3. 事業性評価手法の解説
 - 3.1 DCF法
 - 3.1.1 DCF法とNPV算出の考え方
 - 3.1.2 NPVの長所と短所
 - 3.1.3 演習1(新規事業の事業価値を算定する・複数シナリオでの事業価値を評価する)
 - 3.2 感度分析
 - 3.2.1 感度分析の考え方
 - 3.2.2 感度分析の長所と短所
 - 3.3 モンテカルロDCF法
 - 3.3.1 モンテカルロ法の考え方
 - 3.3.2 モンテカルロ法の長所と短所
 - 3.4 What-If分析
 - 3.4.1 What-If分析の考え方
 - 3.4.2 What-If分析の長所と短所
 - 3.5 デジジョンツリー・アナリシス
 - 3.5.1 デジジョンツリー・アナリシスの長所と短所
 - 3.6 リスクを考慮した事業性評価の分析
 - 3.6.1 分析ケース
4. 実務例、および事業性評価ソフトウェアの紹介
 - 4.1 企業事例
 - 4.2 事業性評価ソフトウェア
 - 4.2.1 Excel上で動く事業性評価ソフトウェア「デジジョンシェア」
 - 4.2.2 事業性評価専用システムRadMap/project
 - 4.2.3 事業ポートフォリオマネジメントシステムRadMap/portfolio
5. 継続的運用のポイント
 - 5.1 中長期の視点を持つ
 - 5.2 業務プロセスを再定義する
 - 5.3 業務プロセスを長期間支えるITツールの活用

【質疑応答・名刺交換】

『事業性評価』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>